市民のひろば まちの声

◆香北の里

活気みなぎる香北町
中を貫く物部川
春は爛漫神苑地
夏はセレネで水しぶき
秋は紅葉の大荒で
滝の流れもすばらしい
冬はセレネで湯につかり
健康作りに花が咲く
この良き里に身をおいて
郷土に華を咲かせんと
生姜とニラにブロッコリー
菜花とイチゴと花作り
里人互いに助け合い
香北の里の村おこし
歩いて健康第一と
万歩計友と語りて散歩する
長寿の里の香北町

（岡村君子）

※香北町出身の岡村さんが、ふるさとを思ってつくった詩が送られてきました。

◆これが昔の人の暮らしの道（昨年十一月、地域学習で塩の道を歩いた大栃小六年生の感想）

「昔の人はこんな道を重い塩や荷物を持って行ったのか。すごいなあ」と感じました。

案内をしてくれた公文さんや小松さんにもいろいろなことを教えていただきました。知らないことがたくさんあって、勉強になりました。馬頭観音様も見ました。塩の道を行き来するのに馬もしんどいので、息絶えた馬も少なくなかったと思います。人もとても大変ですが、昔の人はイヤなんて言ってられなかったと思います。生きるために絶対に行かなければならない道です。

わたしは、塩の道の体験を通して、昔の人の大変さを実感することができました。生きるために一生懸命、山を越えて歩いていく人の姿を想像することができます。たくさんの自然も見ることができました。これからも塩の道を残して、たくさんの人々が歩いたことや、言い伝えを聞かせてあげてほしいです。

（西野未里）

作：山﨑茉紀・宗石真奈
（山田高校マンガ部）

春の交通安全運動

実施期間＝４月６日（日）～１５日（火）

【基本事項】子どもと高齢者を交通事故から守ろう

【重点目標】①全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
②自転車の安全利用の推進
③飲酒運転の根絶

（高知県交通安全推進県民会議）

香・美・人⑪
佐岡おとうちゃん会
（土佐山田町・佐岡）

〝親子で一緒に楽しむことの大切さ〟を基本に、地域ぐるみで子育てを実践する佐岡のお父ちゃんたちを紹介します。

◇　◇　◇

『佐岡おとうちゃん会』（会長＝西内一正さん・会員＝十四人）は、その名のとおり、佐岡小学校児童のお父ちゃんや地域の方がメンバーとなってつくられています。

『おとうちゃん会』誕生のきっかけは、佐岡小児童の減少によるものでした。平成元年には六十三人いた全校児童も年々減少し、平成十二年には三十二人と約半分になり、「学校のPTA活動にも支障が出るのでは？」「父親ももっと子どもたちと関わりたい」という思いから、学校のPTA活動とは別に、平成十二年四月にスタートしました。

活動としては、子どもたちと一緒に楽しむことができる行事を年に二回ほど実施すること。「体験やものづくりを」と行事の計画を立て、平成十九年度は、ツリーイング体験（ロープで木登り）と外国料理教室を実施しました。

料理教室

二月十日に実施した外国料理教室では、児童の保護者でインドネシアの方が講師となり、スパイアム（スープ）、タフイシ（揚げ物）、ビフンゴレン（ビーフンの炒め物）、ナシゴレン（インドネシア風焼き飯）といったインドネシア料理を作りました。長時間の調理にもかかわらず、子どもたちも熱心に取り組み、楽しんでいたようです。

三月十三日の夜、仕事を終えた後のメンバーが佐岡地区公民館に集まりました。ここで、活動のポイントを、初代会長で現在も会のメンバーである小松晴朗さんにお聞きしました。小松さんは「活動を長く続けるには、無理をしないこと。そのためには、自分たち大人も楽しむことが大切」と教えてくださいました。

この夜は、「料理教室の評判はどうやった？」「来年度は釣り大会なんてどうやろう？」など、行事の反省や新年度の計画について、いろんな感想やアイデアを楽しそうに話し合っていました。お父ちゃんたちの作戦会議は、夜遅くまで続けられていたようです。

おとうちゃん会

ただいま留学中⑪
インデカ・デ・シルバ
（スリランカ）

私は、スリランカから平成十八年十月、香美市に来ました。大学院博士課程二年です。物質工学を勉強しています。スリランカという国名はシンハラ語（スリランカ語）で「光輝く島」という意味です。

休暇で今年の一月、一年半ぶりに故郷に帰りました。二人の姉に会った両親と一緒に、とても喜んでくれました。私は日本での暮らしについて家族に三日間も話し続けました。家族が何よりも驚いたのは、私が刺し身を食べたことについてです。スリランカでは生の魚を食べる習慣はありませんから。

高知のように、スリランカでも故郷に帰ると必ず海に行きます。友達と海で泳いで、ココ椰子の水を飲んで『ああ、故郷に帰ったなあ』と実感します。母校の先生を訪ねて研究のことなど話しました。

もう一つ、帰郷の際の行事はお寺参りです。スリランカは仏教の国です。家族親類と一緒に三〇キロ離れた『キャンデ　バハラヤ寺』にお参りに行きました。留学の成功と家族の健康を祈りました。境内は毎日何千人もの人々が参詣して賑やかです。私も心が落ち着き、また日本で頑張ろうという勇気が湧いてきました。

おふくろはスリランカでお祝いの時に食べる『キリバト』を作ってくれました。米をココナツミルクで炊いて菱形に切ったものです。久しぶりに「クリケット」（スリランカの国民的スポーツ）も楽しみました。一カ月の休暇でしたが、まるで三カ月ものように感じました。香美市の皆さん、スリランカへぜひ行ってみてください。

地域安全ニュースかみ No. 25

～みんなでつくろう安心のまち～　香美地区地域安全協会　（☎·FAX 53-1855）

発生してます！ インターネットオークション詐欺

被害例（土佐山田町で発生）

Ａさんはノートパソコンを12万円で落札したかったが、Ｂさんが14万円で落札したので購入できなかった。

後日、Ｃと名乗る人から連絡があり、「Ｂさんは落札をキャンセルしたので、12万円で購入しないか」と言われ、Ａさんは指定された口座にお金を振り込んだ。

しかし、商品は送られてくることもなく、Ｃとは連絡がつかない状態になった。

！【被害防止策】

①相手の身元をしっかり確認する（名前、メールアドレスだけでなく、固定電話番号を確認する、掲示板で相手の評判をチェックする）
②代金先払いの取引は要注意
③被害に遭うことを想定して、相手からのメールや銀行振込時の控え、購入時のパソコンの画面表示を保存しておく
④安全性の高いオークションサイトやショッピングサイトを選ぶ

こんな言葉に気をつけて！土佐山田町でも発生しています！

「ためになりますよ」

資格取得を利用した**資格商法。**
資料を請求しただけなのに、教材・契約書が同封されていることも。
また、過去に受講した講座に対してさまざまな請求をしてくる業者もいます。

対策

●断るときは、はっきり「必要ありません」と言いましょう。
●あいまいな返答をしてはいけません。（契約したとみなされるケースがあります。）
●断ったはずなのに、資料が送付されてきたら、受け取り拒否をしましょう。

通学路安全の日

「安全安心まちづくり条例」の施行を受け、「子どもの安全対策」について県民世論調査を実施したところ、「子どもの安全を守るために必要な取り組み」として、地域住民や警察官による通学路等の見守りを望む意見が約85%を占めた。

そこで、県は「通学路安全の日」を制定し、毎月第三木曜日に地域住民・防犯ボランティア・教育委員会・学校等が連携し「三もく活動の日」の活動名称で児童の安全の見守り活動を、今年４月から実施することとした。

活動の重点

①通学路において、登下校時の児童等の見守り
　（子どもを見る目）

②パトロールによる通学路の安全点検
　（安全点検の目）

③周辺住民との情報交換による通学路周辺の変化を把握する
　（変化を見る目）